

2015年5月8日

スバル レヴォーグ、WRX、レガシィ、フォレスターが 2014年度「新・安全性能総合評価 ファイブスター賞」を受賞

このたび、国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA^{*1})が実施した、自動車の安全性能を比較評価する2014年度自動車アセスメント(JNCAP^{*2})において、レヴォーグ、WRX、レガシィ、フォレスターが最高の評価である5つ星を獲得し、「新・安全性能総合評価ファイブスター賞(JNCAP ファイブスター賞)」を受賞しました。同賞は、2011年度のレガシィ、2012年度のレガシィ、インプレッサに続いての受賞となります。

また、2014年度より開始された自動ブレーキなどの予防安全技術の評価する「予防安全アセスメント」において、「アイサイト」を搭載するレヴォーグ、WRX S4、レガシィ、フォレスター、インプレッサ、SUBARU XV、SUBARU XV HYBRIDが最高ランクであるJNCAP「先進安全車プラス(ASV+^{*3})」に選定されており、安全性能全般で高い評価をいただいています。

富士重工業は、ブランドステートメントである“Confidence in Motion”を通じて、スバルならではの「安心とゆしさ」の提案を掲げています。この「安心とゆしさ」を支える重要な要素である「安全」を、ALL-AROUND SAFETYの考え方の基に、0次安全、アクティブセーフティ、プリクラッシュセーフティ、パッシブセーフティの各技術進化により実現していきます。

■ スバルオフィシャルWEB サイト(テクノロジー)

<http://www.subaru.jp/about/technology/spirit/spirit.html>

*1: National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid

*2: Japan New Car Assessment Program

*3: Advanced Safety Vehicle +

